

# 令和6年度第1回鹿児島県感染症対策連携協議会 行動計画策定部会開催概要について

- 1 開催日時  
令和6年10月21日（月） 18時から19時30分
- 2 出席者  
委員18人（うちオンライン参加8人，代理6人）
- 3 協議・説明事項
  - (1) 説明事項  
新型インフルエンザ等対策政府行動計画の改定の概要について
  - (2) 協議事項  
鹿児島県新型インフルエンザ等対策行動計画の改定について
  - (3) その他
- 4 主な意見
  - 横断的な3つの視点（人材育成，国と地方公共団体との連携，DXの推進）について，各対策項目に記載してあるが，別項目としてもまとめて記載していただきたい。
  - 国は，国立健康危機管理研究機構（JIHS）の役割を重要視しているため，JIHSの果たす役割の記載があるが，県においては，地衛研の役割の強化，果たす役割や位置付けについて記載が必要になるのではないかと。
  - 各対策項目に，発生時期ごとの取組が記載されているが，時系列に，いつ誰がどのような対応をするのか整理して記載していただきたい。
  - 企業においても，業務継続計画（BCP）を，作らないといけないう認識が浸透してきている。  
BCP策定の支援・連携について，県のオリジナリティとして記載してはどうか。
  - （対策項目「情報提供・共有，リスクコミュニケーション」の）初動期と対応期において，いずれも偏見・差別等や偽・誤情報への対応をすることになるが，各時期において，特に発生する可能性が高い偏見・差別等や偽・誤情報を意識付けした上で，メリハリをつけて記載していただきたい。
  - 県の特徴として，離島が多い点を踏まえ，市町村との関わり方や地方衛生研究所の役割，支援などを記載していただきたい。
  - 医療機関間の情報の共有が非常に大事。患者の状況等をリアルタイムに共有できると受入調整についてもスムーズに対応できることから，医療機関の横の連携についても記載した方が良いのではないかと。